

妊娠中に虫垂炎の手術治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データ／検体（血液、切除標本）の調査研究への使用 のお願い】

神戸市立西神戸医療センター外科では「妊婦の急性虫垂炎に対する腹腔鏡手術の安全性・有用性に関する多機関共同研究」という臨床研究を行っております。この研究は、妊婦の急性虫垂炎に対する腹腔鏡手術の安全性、有効性に加えて胎児への影響を調べることを主な目的としています。そのため、過去に虫垂炎の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データ／検体（血液、切除標本）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- この調査研究は大分大学医学部消化器・小児外科学講座を主たる研究機関とし、腹腔鏡下大腸切除研究会に所属する施設で行う多施設共同研究で、主研究機関および神戸市立西神戸医療センター倫理委員会で審査され、それぞれの病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。
調査対象期間：西暦2012年1月1日～西暦2021年12月31日まで
データ収集期間：倫理委員会承認後～西暦2026年3月31日まで
- 今回の調査研究の対象はこれまでに妊娠中に虫垂炎の手術治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真、検査結果などです。
- 過去のデータ（患者さんの年齢・基礎疾患や手術期の経過、画像検査結果、妊娠転帰などの情報）／検体（血液検査や切除標本など）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大分大学に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、2022年度腹腔鏡下大腸切除研究会研究助成制度において取得した資金と公的な資金である大分大学医学部消化器・小児外科学講座の寄付金で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、2025年3月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

神戸市立西神戸医療センター 外科

研究担当者：住井敦彦、塩田哲也

Tel. 078-997-2200 (代)

研究事務局

大分大学医学部消化器・小児外科学講座 助教

小川 雄大

住所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

連絡先 097-586-5843